

■アドミッション・ポリシー

家政学科は、カリキュラム・ポリシーで定める教育内容を全うし、ディプロマ・ポリシーで定める基準に達する見込みがある者として、次のような人物を求める。

知識・技能	●生活を営むために必要な衣食住、家族、保育、消費、環境、家庭と社会との関わり等について学習し、その中で得意な分野をもっている。 ●高等学校等で習得するレベルの基礎学力を身に付けている。
思考力・判断力・表現力等の能力	●大学で学ぶ基盤となる資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等）を身に付けている。 ●生活の中から問題を発見するとともに生活者の視点で解決し、これを他者に説明、共有しようとする意欲がある。 ●持続可能な社会の実現に向けて、主体的に行動する意思決定能力や、家庭や地域の生活を創造する能力、実践的な態度を身に付けたいと考えている。
主体性・多様性・協働性	●国籍、性別や世代を超え、多様な立場や意見をもつ人々と協力しあって生活を改善し、持続可能な社会を目指して行動を起こしたいと考えている。 ●家庭生活のマネジメント能力を身に付けたいと考えている。 ●家政学の専門性を備えたプロフェSSIONALとして自立し、中学校・高等学校の家庭科教員や生活関連産業等で活躍したいと考えている。

学科独自課題のテーマおよび評価ポイント

小論文型

小論文テーマ：
よりよい生活をつくるためには
以下のキーワード例を参考にあなたの考えを述べてください。
(解答時間90分／文字数1,000字以内)
【小論文を考える際のキーワード例】
安全・安心、快適、健康、環境への配慮、持続可能性、食生活、衣生活、住生活、家庭生活、消費生活、男女共同参画社会、少子社会、高齢社会、共生社会、ライフキャリア、ライフステージ、ユニバーサルデザイン等

評価ポイント

1. 各自で設定した課題を適切にとらえることができる。
2. 課題とその解決策について実例を示しながら自分の考えを述べることができる。
3. 文章の構成力や表現力などを含めた基礎力があること。

活動アピール型

(アピール:7分／質疑応答:8分)

評価ポイント

1. 各自の活動の成果とそのプロセスを適切に述べるができる。
2. その成果から得た自分の気づきや振り返りについて述べるができる。
3. プレゼンテーションの構成力や表現力、人に伝える力があること。

活動アピール型(スポーツ特別選抜)

(アピール:8分／質疑応答:7分)

評価ポイント

1. 高校時代の活動状況について分かりやすく発表できているか。
2. スポーツを通じて学んだことや身についたことを、具体例を挙げながら説明できているか。
3. スポーツを通じて得た経験を入学後の学生生活にどのように生かしていきたいかが述べられているか。

自己推薦書および面接の評価ポイント

自己推薦書

これまでの多様な学習成果や学びへの意欲、課外活動、社会的活動などを評価するとともに、本人の志望動機や適性が本学科の入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)と一致しているのかを評価します。

講義受講型

講義テーマ：
よりよい生活をつくるためには
(講義30分／レポート作成60分)

レポートに対する評価ポイント

1. 講義で提示された課題を適切にとらえることができる。
2. 課題に対する自分の興味関心について実例を示しながら述べるができる。
3. 文章の構成力や表現力などを含めた基礎力があること。

探究学習発表型

(発表:7分／質疑応答:8分)

評価ポイント

1. 各自の活動の成果とそのプロセスを適切に述べるができる。
2. その成果から得た自分の気づきや振り返りについて述べるができる。
3. プレゼンテーションの構成力や表現力、人に伝える力があること。

面接

家政学に関する基礎力(高校の家庭科の学習範囲)、家政学科での学修に対する意欲や態度、将来展望、自分の意見や考えを表現できる力などを総合的に評価します。